


残暑お見舞い申し上げます

まだまだ暑さが続いています。

お互い無理せず 今を元気に

God be with You!!

From Kobe 2023.9月 Mutsu Nakanishi



夏の終わり 湿地の野に咲く
純白の美しい花姿「鶯草(サギソウ)」
花言葉は「無垢」「清純」「繊細」

加古川西岸の加西市網引湿原で 2023.9.2.

純白の鷺草が咲く加西市網引湿原 2023.9.2. by Mutsu Nakanishi

時期が遅くてダメもとで 加古川西岸を原チャリで駆けました。
清楚に鷺が舞う舞姿の「鷺草」に出会えました。

今年はいけませんでした、
夏の初めには絶滅危惧種「一円玉の大きさの八丁トンボ」が舞い、薄ピンクのトキソウが咲く
昨年偶然に知ったのですが、兵庫県一貴重な湿原という。



加西市網引湿原の鷺草 2023.9.2.
BGMは井上陽水「少年時代」を入れました



加古川中流西岸 小野アルプスの山裾の田園地帯
湿原の自然な姿がそっくりそのまま保全管理されている

八丁蜻蛉が舞う加西市網引湿原 2022.5.24.

加古川西岸 小野アルプスの山裾を原チャリ走らせていた途中
見つけた誰もいない小さな山中の静かな湿原

兵庫県で唯一 絶滅危惧種の八丁蜻蛉が見られる湿原と聞いてびっくり
湿原では絶滅危惧種の八丁蜻蛉に朱鷺草も咲きだしてラッキーでした。

兵庫県では唯一の自生地
加西市網引湿原
日本一小さな蜻蛉



八丁蜻蛉は日本最小 一円玉の大きさ
絶滅危惧種のトンボ



八丁蜻蛉(オス)



朱鷺草

本年は訪ねられなかったのですが、
夏の初めには絶滅危惧種「一円玉の大きさの八丁トンボ」が舞い、
薄ピンクのトキソウ、夏の終わりには純白の鷺草が咲き誇る。
昨年偶然知って訪れ始めたのですが、兵庫県一貴重な湿原という。

【昨年のFile Photo】梅雨入り目前 2022.5.24. [原チャリで駆ける東播磨 加古川沿い風来坊walk](#) より

◎絶滅危惧種八丁蜻蛉の兵庫県唯一の自生地 加西市網引湿原の記録と紹介

<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0406EharimaBakusyuweb.pdf>

夏の終わり 湿地の野に咲く
純白の美しい花姿「鷺草(サギソウ)」
花言葉は「無垢」「清純」「繊細」



初めて出逢った時には 「こんな美しい花があるのか・・・」と
今年も加西市網引湿原に咲く鷺草に出会いに。

加古川西岸の小さな湿原「網引湿原」に夏のいつとき野草に混じって咲く野生の鷺草
時期がすこし遅かったのですが、9月2日原チャリ走らせ、出会うことができました。
夏から初秋へ 私には欠かせぬ「夏の終わりの風物詩」のひとつになりました

20239.2. Mutsu Nakanishi



加西市

青野ヶ原

JR加古川線

網引駅

北条鉄道

粟生

神戸電鉄

網引湿原

福甸峠

鴨池

來住野

志方野尻の里

紅山 ▲

小野アルプス

山陽自動車道

権現ダム

四季折々訪ねる加古川西岸
小野アルプスの山裾 小野/志方の郷を隔てる福甸峠
その北側に四方を小さな里山に囲まれた湿原「網引湿原」がある。
この夏 初めて出かけ、絶滅が危惧されるハ丁トンボを見ました。
その時に 夏の終わり、鷺草が咲いた時が一番と教えてもらいました。
8月24日午後 やっと湿原に咲く純白の鷺草を見に行ってきました。
入口は北側 加西市網引の里からしか行けず、あまり知られていませんが
よく管理された静かな湿原 兵庫にも湿原あり 兵庫県一の湿原と聴く。



網引湿原入口 2023.9.2.



南網引の集落側から網引湿原入口を眺める 2023.9.2.



網引湿原入口から南網引の集落側を眺める 2023.9.2.
県道79号高砂・加古川・加西線の南網引集落入口から
南へ集落を抜けたところに湿原入口がある

あびき湿原

湿地の三種の神器



ハッチョウトンボ 6~8月



ヒメタイコウチ 6~8月



トキソウ
ヒメヒカゲ 6月



ギフチョウ 4月



コバノトンボソウ 6月



スイラン 9~10月



サワヒヨドリ 6~8月



ノハナショウブ 6月



カキラン 6月



タムラソウ 9~10月



ホンバリンドウ 9~10月



サギソウ 8月



ユウスゲ 7月



トウカイコモウセンゴケ



トキソウ 5~6月



網引湿原野生生物保護地区 (網引湿原地区)



1. 指定年月日 平成26年6月1日
2. 指定番号 加西市指定第1号
3. 名称 網引湿原野生生物保護地区
4. 所在地 網引町の一部
5. 指定基準 加西市民の美しい環境をまもる条例施行規則第6条第1号から第3号
6. 要旨 兵庫県下でも最大級の広さを誇る湧水湿原で、希少な水生動植物が多数生息している場所です。

7. その他
この地区において、木竹の伐採、野生生物の採取・捕獲、損傷、一定の開発行為その他、野生生物の保護に影響を及ぼすおそれのある行為をする場合には、加西市長への届出が必要となります。届出をせず、又は虚偽の届出をした者は、50万円以下の罰金に処せられる場合があります。





網引湿原 第一湿原入口 2023.9.2.



網引湿原のゲート 2023.9.2.





鷺草
網引湿原 第一湿原で 2023.9.2.
時期が遅くて見られないかもしれないと思いましたが、
湿原の野草の中に白い鷺草が点々と。嬉しい出会いに



鷺草 網引湿原 第一湿原で 2023.9.2



鷺草 網引湿原 第一湿原で 2023.9.2



池に沿って山道を南へ 第一湿原に続く南の第二湿原へ 2023.9.2.



網引湿原 第一湿原の南 広い第二湿原 2023.9.2.

A photograph of a lush green wetland. The foreground is dominated by tall, thin grasses and some broader-leaved plants. In the background, there is a dense thicket of green vegetation. The overall scene is vibrant and natural.

網引湿原 第2湿原で 2023.9.2.

草ぼうぼうの湿地ですが、目を凝らすとあちこちで、野草が花をつけています。
蜻蛉や蝶も飛び交っていました。

あまりよく知られていない兵庫の湿原ですが 今日週末 数組が晩夏の湿原歩き
ゆったりとした時が流れる湿原で目を凝らして、鷺草や晩夏の草花を楽しむ
また、きょうもまだ飛んでいると聞いた小さな八丁トンボを探す



第2湿原の湿地でも、数多くの鷺相に出会えました。
晩夏の網引湿原 第2湿原で 2023.9.2.



鷺草 網引湿原 第2湿原で 2023.9.2.



鷺草 湿原を覆う野草の中で点々と咲いていました
晩夏の網引湿原 第2湿原で 2023.9.2.



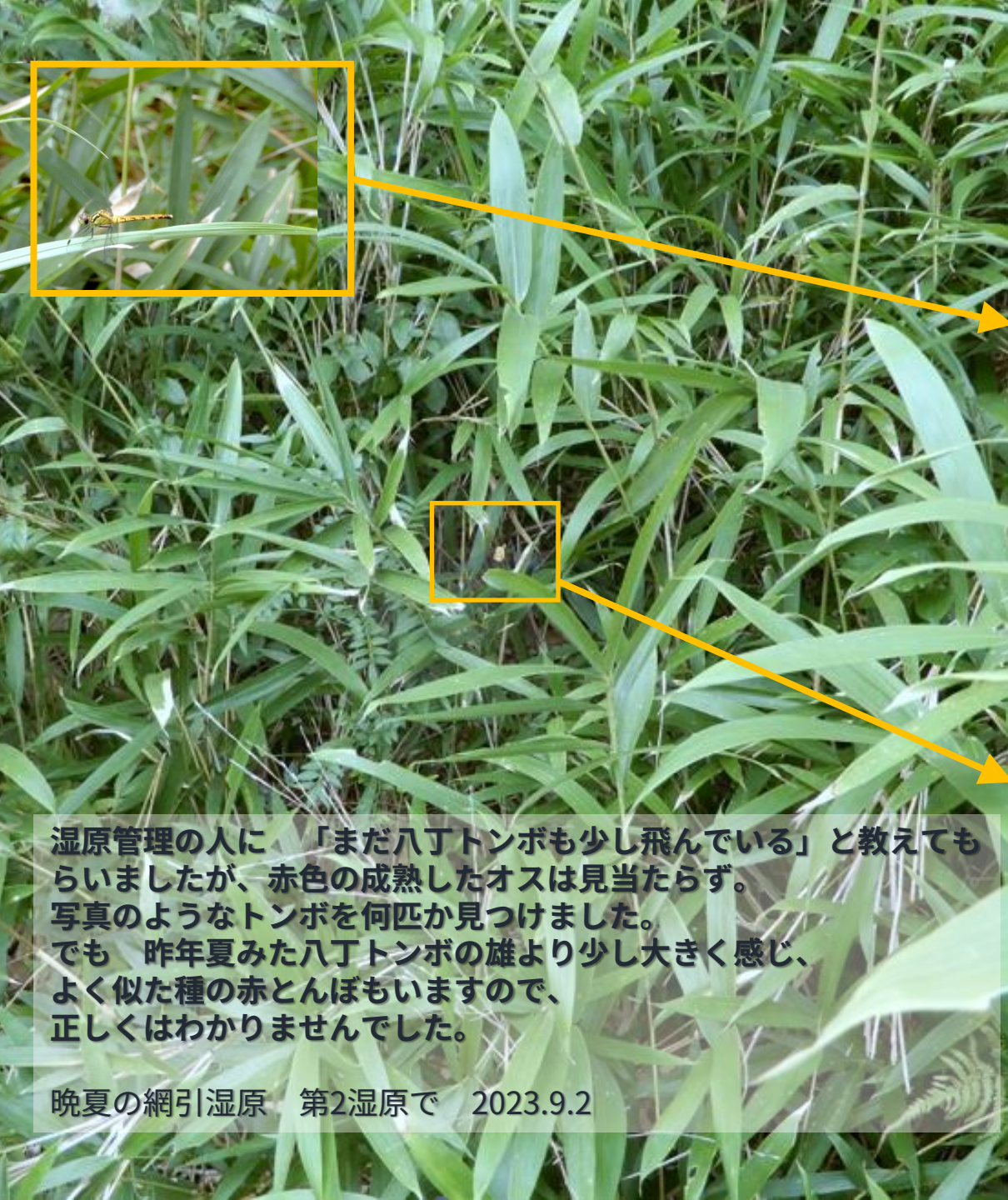
鷺草 湿原を覆う野草の中で点々と咲いていました
晩夏の網引湿原 第2湿原で 2023.9.2.



キセルアザミの花の蜜を吸う蝶
2023.9.2. 網引湿原で



キセルアザミの花の蜜を吸う蝶
2023.9.2. 網引湿原で



湿原管理の人に、「まだ八丁トンボも少し飛んでいる」と教えてもらいましたが、赤色の成熟したオスは見当たらず。写真のようなトンボを何匹か見つけました。でも 昨年夏みた八丁トンボの雄より少し大きく感じ、よく似た種の赤とんぼもいますので、正しくはわかりませんでした。

晩夏の網引湿原 第2湿原で 2023.9.2



待宵草



野草 網引湿原 第2湿原で、2023.9.2.



八丁トンボ?



蜻蛉(正面) 名前不明?



コイヌノ
ハナヒゲ



コマツカサススキ



ミズギボウシ



サギ草



キセルアザミ



サワシロギク

晩夏 網引湿原で見かけた野草の花 & 蜻蛉・蝶

2023.9.2.



晩夏 網引湿原を舞う鷺草の舞姿 2023.9.2.



晩夏 網引湿原を舞う鷺草の舞姿 2023.9.2.



網引湿原 第一湿原の南 広い第二湿原 2023.9.2.



鶯草： 網引湿原 第一湿原で、2023.9.2.
時期が遅くて見られないかもしれないと思いましたが、
湿原の野草の中に白い鶯草が点々と。嬉しい出会いに



兵庫県天然記念物
あびき湿原
湿原への入山は
午前9時～午後5時
以後は施設します。
路上駐車禁止
湿原の跡は歩幅300mの公営室
に駐車して下さい。
鳥獣害が繰り返されています。地元
に連絡を仰いで下さい。

あびき湿原 湿地の三種の神器

住民参画型里山林再生事業

夏の終わり 湿地の野に咲く
純白の美しい花姿「鷺草(サギソウ)」
花言葉は「無垢」「清純」「繊細」



初めて出逢った時には 「こんな美しい花があるのか・・・」と
今年も加西市網引湿原に咲く鷺草に出会いに。

加古川西岸の小さな湿原「網引湿原」に夏のいつとき野草に混じって咲く野生の鷺草
時期がすこし遅かったのですが、9月2日原チャリ走らせ、出会うことができました。
夏から初秋へ 私には欠かせぬ夏の終わりの風物詩になりました

2023.9.5. Mutsu Nakanishi



網引湿原入口から南網引の集落側を眺める 2023.9.2.
県道79号高砂・加古川・加西線の南網引集落入口から
南へ集落を抜けたところに湿原入口がある



夏の空から秋の空へ 雲がゆっくり流れゆく

嬉しい鷺草との出会いができて、ルンルン。南網引集落から県道79号を南へ山間を抜けると、四季折々原チャリ走らす東西に走る山陽自動車道沿いの県道118号福匂峠・小野/志方線の十字路時間もまだ たっぷりある。小野町駅きすみの駅蕎麦の昼食。少し引き返して志方の田園を駆けて、朝来た道 加古川上荘橋から稲美の田園景色を神出の里から白川峠へ 久し振りに風をきりつつ、西神戸・加古川西岸を駆けてる楽しい一日になりました。

2023.9.2. Mutsu Nakanishi

初秋の空を鷺が舞う 2023.9.2.
網引湿原の南西の山間 加古川市志方広尾の里で






例年秋にはコスモス畑になる休耕田
 本年は志方の町お輿し
 「カココットン・加古川コットン」
 綿の栽培に取り組んでいました
 ちょうど綿の花が咲き、綿の実が弾けて
 綿が見えている実もありました。
 白い綿の花は「一日花」
 朝咲いた花は午後には赤くなって萎んでしま
 い、さらに茶色くなって実をつける。
 白から黄赤への変化
 遠目にはちょうどアンネのバラ。



かつての特産品「綿」の栽培に取り組む志方の町お輿し
 2023.9.2. 網引湿原の南西の山あい加古川市志方 広尾の里で



夏から秋の空へ 雲がゆっくり流れて美しい
加古川西岸 稲美 加古の大池で 2023.9.2.



夏の空から秋の空へ 雲がゆっくり流れゆく
みのりの秋へ 西神戸神出の里で 2023.9.2.



青野ヶ原

加西市

網引駅

北条鉄道

JR加古川線

粟生

神戸電鉄

網引湿原

福匂峠

鴨池

來住野

志方野尻の里

紅山 ▲

小野アルプス

山陽自動車道

権現ダム

四季折々訪ねる加古川西岸
小野アルプスの山裾 小野/志方の郷を隔てる福匂峠
その北側に四方を小さな里山に囲まれた湿原「網引湿原」がある。
この夏 初めて出かけ、絶滅が危惧されるハ丁トンボを見ました。
その時に 夏の終わり、鷺草が咲いた時が一番と教えてもらいました。
8月24日午後 やっと湿原に咲く純白の鷺草を見に行ってきました。
入口は北側 加西市網引の里からしか行けず、あまり知られていませんが
よく管理された静かな湿原 兵庫にも湿原あり 兵庫県一の湿原と聴く。



夏の終わり 湿地の野に咲く
純白の美しい花姿「鷺草(サギソウ)」
花言葉は「無垢」「清純」「繊細」

初めて出逢った時には「こんな美しい花があるのか・・・」と
今年も加西市網引湿原に咲く鷺草に出会いに。

加古川西岸の小さな湿原「網引湿原」に夏のいつとき野草に混じって咲く野生の鷺草
時期がすこし遅かったのですが、9月2日原チャリ走らせ、出会うことができました。
夏から初秋へ 私には欠かせぬ「夏の終わりの風物詩」のひとつになりました

20239.2. Mutsu Nakanishi

純白の鷺草が咲く加西市網引湿原 2023.9.2.

時期が遅れたのでダメもとで加古川西岸を原チャリで駆けました。
清楚に鷺が舞う うれしい鷺草との出会いに。



加西市網引湿原の鷺草 2023.9.2.

夏の空から秋の空へ 雲がゆっくり流れゆく
小野市来住 加古川西岸で 2023.9.2.

BGMは井上陽水「少年時代」を入れました By Mutsu Nakanishi